

第 4 表 府県別電灯、ガス及び水道

本表は各府県を通じて市町村より提出された報告を集計したもので、電灯にかんする数字は各年度末、ガスにかんする数字は各年末、水道にかんする数字は昭和28年3月31日現在によつたものである。なお上水道の給水量は計区給水人口1万人以上の企業者について調査したものである。

府 県	電 灯		ガ ス	上 水 道	
	需 要 家 数	契 約 灯 数		給 水 人 口	給水量(千立方米)
昭和25年	14 691 000	78 997 603	1 487 002
" 26年	15 097 588	79 941 813	1 731 798
" 27年	15 447 326	86 747 086	1 893 839	22 366 099	1 092 243
昭和28年	15 843 023	94 091 039	2 035 859	23 087 143	1 337 949
北海道	599 359	3 492 228	27 375	764 855	30 902
	218 556	1 068 340	-	176 797	13 059
	205 922	940 380	1 292	126 386	4 209
	267 843	1 294 873	6 339	415 201	17 933
山形県	214 634	995 113	8 626	106 435	6 669
	226 920	1 127 955	2 667	188 528	7 955
	309 155	1 675 872	6 820	319 727	20 032
	346 172	1 483 124	6 053	76 546	3 842
福島県	263 572	1 294 181	5 448	105 999	4 144
	281 999	1 528 522	7 925	208 006	11 116
	393 311	2 194 008	11 447	177 528	10 809
	400 391	1 946 443	12 873	270 725	10 980
茨城県	1 387 821	12 445 402	739 758	5 035 707	256 110
	521 766	3 410 899	92 940	1 478 236	136 860
	434 204	2 585 595	30 823	434 973	19 351
	193 647	1 295 588	3 884	96 565	3 289
栃木県	187 406	1 290 108	13 290	185 757	7 724
	159 260	1 047 011	3 804	97 609	2 961
	152 763	937 283	2 770	170 135	11 560
	399 205	2 244 266	12 311	438 952	19 367
群馬県	306 793	2 039 272	6 157	145 237	5 701
	469 498	2 769 841	21 909	438 349	24 797
	720 778	4 914 511	136 687	1 066 058	57 309
	296 641	1 658 870	8 865	186 537	10 202
埼玉県	189 111	1 039 133	6 999	54 600	2 744
	414 381	3 329 386	152 244	975 816	50 570
	930 558	6 004 171	374 942	2 954 336	205 481
	746 754	4 675 477	145 011	1 402 188	108 031
千葉県	161 228	1 057 662	5 824	134 364	5 533
	213 787	1 083 688	4 771	174 868	7 630
	115 297	645 878	2 532	111 067	5 530
	175 642	856 539	2 448	121 734	4 619
東京都	333 261	1 910 311	15 727	333 205	19 336
	438 708	2 296 977	26 094	556 633	45 083
	301 343	1 645 151	9 463	399 792	29 007
	160 722	718 949	2 203	108 298	4 875
神奈川県	177 691	977 220	4 508	172 514	6 758
	295 492	1 374 064	7 167	216 543	5 356
	179 128	768 232	3 324	147 341	4 859
	571 877	3 431 153	57 707	1 126 028	59 340
新潟県	151 217	789 962	3 238	142 784	2 675
	266 082	1 242 585	18 043	445 854	36 481
	310 816	1 457 392	8 246	201 811	9 642
	229 245	1 242 111	2 265	231 075	12 282
富山県	187 524	767 461	6 071	99 008	5 424
	338 523	1 097 852	6 969	246 433	9 610

(注) 資料 通商産業省公益事業局公益事業調査課、ガス課。建設省計画局水道課。

第 11 章

生 産 指 数

第11章 生産指数

(1) 概況

昭和29年の大阪府工業は、28年10月に始った金融引締めを契機とした緊縮政策によって、デフレ基調に明け暮れたといえよう。この厳しいデフレ政策によって、国際的に割高であったわが国の物価が引下げられる効果はあったが、その反面、企業整理の嵐や、失業者のはんらんが見られ、6月から8月にかけて全く不況の感があり、その様相は前途に暗に影を投げかけたが、9月からは漸くそれを脱して上昇に転じ、年末には昨年並みあるいはそれ以上の状態に復したのであった。結局、工業生産指数の年間平均では151.2（昭和26年＝100）で、前年平均141.2を7%上廻ることになったとはいえ、前年の上昇率が22%あまりであったのと比較すれば、生産は順調であったとはいえないのである。

これらのことを業種別にみると、逐年毎に相当大巾に増加した産業が、この1年間には減産に転じたものが少ないことがわかる。すなわち、輸送機械の対前年比14.7%減を筆頭に、皮革7.3%減、ゴム0.5%減、紙、パルプ0.3%減がある。これらは何れも金融引締めを真向から蒙った産業であるようだ。一方この1年間に、前年とおり増産を続けた産業は、化学製品の21.8%増を頭に、以下ガラス、土石製品13.5%増、1次金属製品11.2%増、金属製品10.8%増、一般機械10.4%増、繊維9.2%増、製材5.3%増がある。このように大部分の業種が、29年においてもなお生産の上昇をみた要因は、一般的にみて輸出が30%近く伸び動力供給エネルギーが潤沢であったことにあるようだ。

これを年間推移にしたがってみると、1月から4月までのやや好調な時期（平均指数154.7）と、5月から9月までの不況期（平均145.2）と、10月から12月にかけての回復期（平均156.7）の三つに分割できる。そしてこの傾向はそのまま繊維、1次金属、化学、一般機械等の主要産業の動向とも一致しているのである。

(2) 繊維製品

繊維製品は、大阪府工業のうちで24%のウエイトを占める大宗であるが、昭和26年以来逐年増産を示し、本年も生産指数は170.8と前年の156.4を8%上廻る高水準を維持した。これを月別にみると、昨年12月の戦後最高のあとを受けた1月は、年始休みが続いて操業日数が減少したことと、暖冬異変による2次製品の売行不振から、1、2の業種を除いて全般的に減産を示したが、2月以降に入ると、漸く表面的には安定したが金融引締めによる産業全般的な市況不振の影響をうけて、輸出好調、夏物生産期による綿織物の増産にもかかわらず、極めて低調に6月まで横ばい状態のまま過ぎた。7月に入って、遂に自主的操短を開始したが、推積した在庫を消化できず、8月もなお低下し年間最低の160.2（これは昨年6月の生産水準と一致し、昨年12月のピークにくらべると14.7%の下降である。）を記録した。しかし秋から年末にかけての冬物需要期に入ってから、在庫増加もややその傾向を弱め、かつ輸出好調とあいまって11月には戦後第3位の183.7に達して全く回復した感があった。

繊維製品の中で最も大きいウエイトを持つ綿糸はこの1年間において、全国生産高の16%に相当する1億5861万ポンドの生産をあげ、常に200%（昭和26年＝100）の水準を保ち、しかも9月には最高1385万ポンドの生産をあげた。しかしこのようにデフレの影響をあまり蒙らなかったとはいえ、昨年の上昇率が33.0%増であったのにくらべ、

本年はその5割の14.7%増に止ったことはやはり大きな影響のあったことを示している。上昇率で最も著しいのは屑紡糸で、府下の繊維製品全体に占めるウエイトは小さいが、それでも年間4328万ポンドを生じ、29年の上昇率は51.2%を示した。これは主として、価格安による需要増に起因するものと思われる。また、綿織物も年間総生産高は7億1920万平方碼で全国の22.6%を占めたが、これも綿糸と同じく概ね横ばい状態が続いたが、8月は最も生産が低かった、年間の最高は11月の195.3最低は8月の168.4で、その差27%あまりである。綿織物の月別推移をみると、1月から6月までは生産がやや増加したが、綿布相場が一進一退であり良くなく、在庫の増加が著しかった。7、8月はこの在庫増のためと原料事情とによって、生産縮少を自主的に計ったために、生産は低下し在庫も減少し始め、この期を境として同時に輸出も伸び、10月以降は織物の採算が比較的有利に傾き、機室筋の需要も増え生産は全く回復した。また泉南地方の毛織物は年間1400万平方碼の生産高で、全国の僅か10%しか占めていないが、工場は中小企業経営が圧倒的に多く、デフレの影響を最も強くうけた部門であった。これの1月から8月までは全国的に在庫が増したが、9月以降になって原料事情のやや好転したのに加えて、操短のために在庫減の現象が目立ってきたので、現状維持程度の増産が行われ、春物の製織期にかけてからは、殆んど昨年末と同程度の状態に復することができた。また年間平均の生産指数は93.3で、昨年と比較して1%の増加に止っている。既製服は、年間約370万着の生産であるが3月と10月のピークをもち、7月に夏枯れの大きな凹型のカーブを画いた。

(3) 一般機械

一般機械は昭和28年8月より設備投資と消費景気とによって著しい生産上昇をみせて、昨年平均119.0であった。この傾向は29年上期まで続き3月には戦後最高の149.2に達したのであるが、下期に至ってデフレの影響を最も深刻にうけて、僅かに昨年の生産水準を10.4%上廻る増加に止った。なかでも繊維機械は繊維設備制限等から国内需要が振わず、僅かに輸出でつないだが、昨年比17.9%減となった。原動機は昨年農業用発動機の異常な需要増から大いに生産が増大し、10月には最高36400HPであったが、本年に入り緊縮政策により工業用大型機関の売行きが下がって、昨年ピークより平均して17.8%減となった。特に、大メーカーは合理化流れ生産方式の採用によって、急激に増加した生産を最盛期の20～50%も減じて在庫量の調整に当った。軸受は、年初から7月の間は非常に需要が伸びたが、後半は自動車メーカー各社の生産抑制と農器具部門が最盛期をすぎたため、この需要の減退に応じて各社が生産制限を行い人員整理を行った。結局年間平均して昨年より32.6%増であった。

(4) 化学製品

29年平均の化学製品の生産指数は176.9%で、対前年比13.4%増であった。なかでも最も著しい上昇率を示したのは、苛性ソーダの36.5%増で、以下石炭酸樹脂25.5%増、医薬品20.7%増、石鹼18.7%増であった。

第 1 表

大 阪 府 工 業

本表の指数は「日本標準産業分類」に基づき、原則として附加価値1億円以上のもの108品目の生
ラスパイレスの3段階式である。代表率は93.3%。事業所が2以下の製造業種の生産指数は除

Table with columns: 年 月, 総合平均, 食料品, 煙草, 繊維, 製材, 紙パルプ, 化学, ゴム, 皮革, ガラス土, 第1次金属, ウェイト. Rows include monthly data for 昭和27, 28, 29 and their averages.

Table with columns: 年 月, 平均, 絹糸, スパ糸, 毛糸, 麻糸, 屑紡糸, 綿織物, スパ織物, 絹織物, 人絹織物, 毛織物, 麻織物, ウェイト. Rows include monthly data for 昭和27, 28, 29 and their averages.

(注) 資料 大阪府総務部統計課。

生 産 指 数

産額にもとづき作成されたものである。基準時は昭和26年。算式は基準時固定ウェイトによる
表しない。これに該当するものはビール、電気鋼、セメント、オート三輪製造業である。

Table with columns: 金属製品, 一般機械, 電気機械, 輸送機械, その他, 平均, 醤油, 焼酎, 酒類, 糖, 煙草, ウェイト. Rows include monthly data for 昭和27, 28, 29 and their averages.

Table with columns: 業, メリヤス製, 染色整理品, 毛織物, 既製履, 平均, 製材, 合板, 平均, パルプ, 洋紙, 板紙, 和紙, ウェイト. Rows include monthly data for 昭和27, 28, 29 and their averages.

第1表

大阪府工業

生産指数(続)

Table with columns: 年 月, 平均, 過磷酸石灰, 化成肥料, 苛性ソーダ, 塩酸, 珪酸粉, 亜鉛華, 酸素, 硫酸, 直接染料, ナフトール下漬. Rows include monthly data for 昭和27-29 and average values.

Table with columns: 年 月, 平均, ゴム製品製造業, 皮革及び皮革製品. Rows include monthly data for 昭和27-29 and average values.

Table with columns: 工, 業. 無水フタル酸, 砒酸, 石炭酸, 硝化綿, セルロイド生地, 酒石酸, グリセリン, 石鹼, 繊維油剤, 医薬品, 塗料, 印刷インキ, 化粧品. Rows include monthly data for 昭和27-29 and average values.

Table with columns: 製造業, ガラス及び土石製品製造業. 紡績用品, 自転車用サドル, 平均, ガラス製品, 陶磁器, 耐火煉瓦, 石綿製品, 人造真珠, 滑石粉砕, 高圧コンクリート管, 赤煉瓦. Rows include monthly data for 昭和27-29 and average values.

第 2 表

大 阪 府 工 業

本表は各関係官庁、民間団体の報告をまとめたもの

Table showing production indices for Osaka Prefecture, categorized by month and year (昭和 26-29), with sub-categories for food, beverages, and other products.

Table showing production indices for Osaka Prefecture, categorized by month and year (昭和 26-29), with sub-categories for textiles and clothing.

(注) 資料 大阪府総務部統計課。

業 生 産 高

ので生産指数算出に用いた基礎数字である。

Table showing production indices for Osaka Prefecture, categorized by month and year (昭和 26-29), with sub-categories for tobacco, silk, and other products.

Table showing production indices for Osaka Prefecture, categorized by month and year (昭和 26-29), with sub-categories for wool, cotton, and other textile products.

第2表

大阪府工業

Table with 6 columns: Year/Month, White Pigment, Aluminum Sulfate, Hydrofluoric Acid, Resin, and Melamine Resin. Data covers 1926 to 1929.

Table with 6 columns: Year/Month, Soap, Detergent, Fiber, Industrial, and Pigment. Data covers 1926 to 1929.

業生産高(続)

Table with 6 columns: Year/Month, Polyester Resin, Edible Hardening Oil, Industrial Hardening Oil, Fat, Glycerin, and Glycerin Refine. Data covers 1926 to 1929.

Table with 6 columns: Year/Month, Other, Total, Anionic Detergent, Cationic Detergent, Nonionic Detergent, and Total. Data covers 1926 to 1929.

第2表

大阪府工業

年 月	皮革製品製				
	革パッキング	紡績用品	自転車用サドル	靴	化学繊維
昭和26年	坪	坪	個	足	平方碼
昭和27年	369 264	...
昭和28年	410 622	...
1月	-	...
2月	-	...
3月	-	...
4月	24 958	12 030	102 822	-	181 100
5月	27 454	26 821	104 273	-	176 250
6月	18 898	11 009	128 705	-	183 698
7月	20 945	18 005	128 633	-	126 333
8月	23 196	15 867	79 094	-	133 220
9月	19 684	17 200	112 054	-	48 591
10月	22 427	13 977	119 779	-	57 011
11月	19 103	16 250	88 350	-	23 542
12月	19 402	6 303	77 481	-	48 200
昭和29年	186 110	123 336	857 408	480 375	279 179
1月	16 485	12 921	47 569	24 798	13 638
2月	19 595	10 732	72 083	29 566	28 553
3月	20 123	13 330	75 719	36 738	20 304
4月	19 001	11 875	84 791	39 628	12 224
5月	17 736	9 407	56 325	39 752	44 540
6月	13 047	23 885	48 493	42 362	21 400
7月	17 718	5 524	56 560	48 825	40 070
8月	14 114	8 158	70 569	36 752	28 100
9月	14 299	6 106	97 042	40 037	29 130
10月	11 997	5 395	105 939	47 838	15 020
11月	13 388	8 123	62 277	46 387	6 220
12月	8 627	7 880	80 021	47 692	19 990

業生産産業高(続)

造業	ガラス及び土石製品製造業					
	ニール	製品	石綿スレート	普通石綿管	原型スレート	高圧コンクリート管
シ	平方碼	平方碼	坪	本	坪	屯
...	19 416
...
...	18 435
...	1 133
...	1 012
...	1 022
...	27 300	49 265	36 749	44 229	16 466	1 209
...	22 700	30 183	36 519	51 968	18 643	1 877
...	25 080	36 545	46 298	50 329	16 430	2 079
...	25 620	34 835	47 523	40 814	17 078	2 398
...	29 182	30 281	45 831	41 229	16 158	1 406
...	129 114	26 363	45 057	41 862	15 111	1 273
...	30 537	23 042	54 467	50 479	16 610	1 546
...	38 875	47 046	58 777	52 845	15 643	1 731
...	26 225	32 991	57 947	56 964	16 538	1 750
昭和29年	691 777	559 181	499 725	553 871	150 459	25 489
1月	58 840	23 757	46 454	50 352	13 385	1 789
2月	32 300	44 782	46 782	50 511	14 395	1 747
3月	32 300	60 289	56 220	40 632	14 496	2 574
4月	16 500	70 292	48 604	43 917	17 210	2 897
5月	17 350	50 197	42 503	40 158	6 409	2 894
6月	18 300	30 545	39 827	35 142	16 900	2 741
7月	11 595	25 885	35 241	50 980	13 463	2 209
8月	6 225	27 519	33 470	48 522	12 195	2 485
9月	86 220	31 451	32 984	40 183	10 977	1 485
10月	220 121	53 561	47 589	51 982	11 099	1 569
11月	136 166	43 934	35 863	49 947	9 602	1 521
12月	55 860	96 969	34 188	52 115	10 358	1 578

(注) 弧括内の数字は推計。

第 2 表

大 阪 府 工

Table showing production indices for Osaka Prefecture, categorized by year/month and machinery type (Original, Agricultural, etc.).

Table showing production indices for Osaka Prefecture, categorized by year/month and machinery type (Electric, Air, etc.).

業 生 産 高 (続)

Table showing production values for Osaka Prefecture, categorized by machinery type (Water, Power, etc.) and unit (thousands of yen).

Table showing production values for Osaka Prefecture, categorized by machinery type (Transport, etc.) and unit (thousands of yen).

第2表 大阪府工業生産高 (続)

年 月	軸		受		ミ シ ン 頭 部		
	ボ ー ル ベ ア	ロ ー ラ ベ ア	計		H A 型	D C 型	計
昭和26年
昭和27年
昭和28年	1 338 926	774 535	-	-	166 501 001	3 647	170 148
1 月	98 623	46 397	-	-	17 405	223	17 628
2 月	146 541	47 944	-	-	14 389	290	14 679
3 月	129 080	53 145	-	-	15 011	350	15 361
4 月	101 554	49 492	-	-	16 029	400	16 429
5 月	107 990	53 181	-	-	15 341	350	15 691
6 月	115 406	72 642	-	-	14 774	309	15 083
7 月	95 678	70 264	-	-	10 596	250	10 846
8 月	102 171	79 735	-	-	12 020	251	12 271
9 月	112 322	87 362	-	-	12 861	303	13 164
10 月	99 165	65 616	-	-	13 688	301	13 989
11 月	103 353	72 326	-	-	14 010	300	14 310
12 月	127 043	74 431	-	-	10 377	320	10 697
昭和29年	1 503 483	1 162 200	2 665 688		384 906	3 695	388 601
1 月	92 644	80 373	173 017		23 717	295	24 012
2 月	122 251	95 764	218 015		23 359	346	23 705
3 月	149 885	120 643	270 528		29 822	325	30 147
4 月	138 566	95 235	233 801		38 471	313	38 784
5 月	137 245	106 426	243 671		33 489	326	33 815
6 月	153 074	102 247	255 321		29 021	249	29 270
7 月	137 628	111 886	248 514		33 929	283	34 212
8 月	113 638	100 069	213 707		32 026	227	32 253
9 月	121 073	106 087	227 160		29 653	268	29 921
10 月	120 908	78 724	199 632		37 367	389	37 756
11 月	117 104	83 778	200 882		38 114	343	38 457
12 月	100 467	80 968	181 435		35 938	331	36 269

年 月	そ の 他 の 製 造 業					
	防 腐 木 材			木 刷 子		金 属 製 玩 具
	枕	電 柱	杭	計		
昭和26年	320 448	7 232 400
昭和27年	555 936	11 588 584
昭和28年	478 870	15 688 050
1 月	39 450	984 040
2 月	44 950	1 296 816
3 月	54 510	1 395 820
4 月	3 549	8 371	623	12 543	54 620	1 323 300
5 月	10 231	6 843	155	17 229	38 520	1 070 980
6 月	4 812	10 518	-	15 330	29 970	1 129 500
7 月	8 082	6 308	59	14 449	25 600	1 042 500
8 月	9 886	9 724	156	19 766	25 680	1 038 500
9 月	4 295	9 251	77	13 623	30 970	1 213 300
10 月	6 782	12 592	-	19 374	39 400	1 366 100
11 月	4 646	10 051	38	14 735	42 300	1 901 910
12 月	2 584	13 680	-	16 264	52 900	1 925 284
昭和29年	77 921	92 645	1 513	172 079	354 330	24 649 310
1 月	3 280	11 047	-	14 327	42 450	1 709 100
2 月	3 576	10 626	104	14 306	33 140	2 079 900
3 月	3 897	8 620	-	12 517	30 250	2 018 440
4 月	2 350	9 743	174	12 267	32 150	1 739 680
5 月	6 409	4 484	64	10 957	30 330	1 660 480
6 月	1 954	4 843	-	6 797	24 750	1 629 300
7 月	7 522	6 011	50	13 583	23 920	1 548 700
8 月	12 534	4 229	-	16 763	22 450	1 756 880
9 月	6 062	4 300	972	11 334	22 590	2 333 740
10 月	9 696	11 621	57	21 374	27 150	2 642 000
11 月	12 209	8 464	92	20 765	29 580	2 712 150
12 月	8 432	8 657	-	17 089	35 570	2 818 940

第 12 章

運輸及び通信